

東北地方 1か月予報

(9月5日から10月4日までの天候見通し)

平成21年9月4日
仙台管区気象台発表

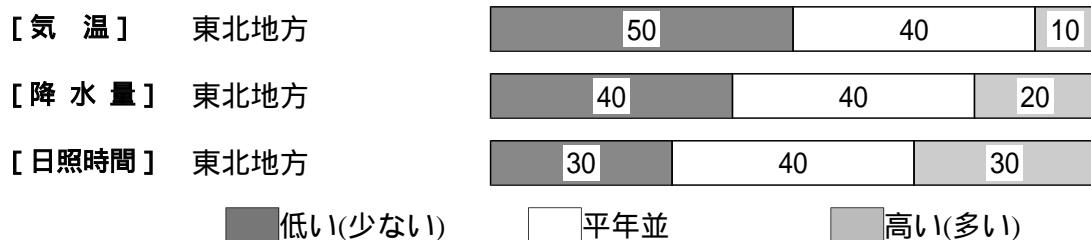
<特に注意を要する事項>

期間の前半を中心に気温が低い見込みです。農作物の管理等に十分注意してください。

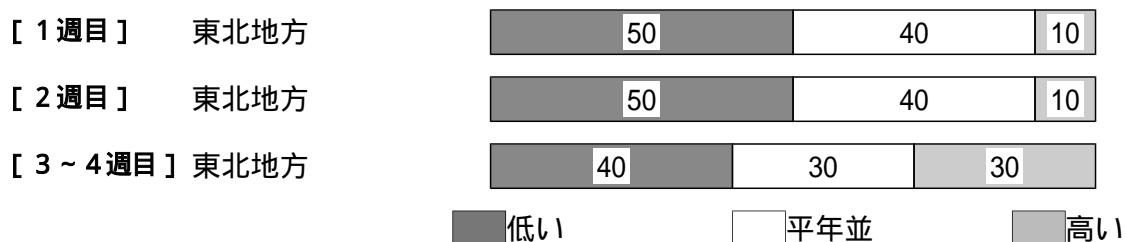
<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。
天気は数日の周期で変わらるでしょう。
向こう1か月の平均気温は低い確率が50%です。降水量は平年並または少ない確率がともに40%です。
週別の気温は、1週目、2週目はともに低い確率が50%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



<予報の対象期間>

1か月 : 9月 5日(土) ~ 10月 4日(日)
1週目 : 9月 5日(土) ~ 9月 11日(金)
2週目 : 9月 12日(土) ~ 9月 18日(金)
3~4週目 : 9月 19日(土) ~ 10月 2日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報:毎週金曜日 14時30分 次回は9月11日
3か月予報:9月24日(木) 14時
寒候期予報:9月24日(木) 14時

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温()	降水量(mm)	日照時間(時間)	気温()		
				1週目	2週目	3~4週目
青森	18.1	116.5	160.8	20.3	18.9	16.9
深浦	18.4	170.0	154.7	20.4	19.1	17.3
むつ	17.3	168.2	147.7	19.2	18.0	16.3
八戸	17.9	156.3	145.9	19.9	18.7	16.9
秋田	19.1	171.7	155.0	21.4	19.9	17.9
盛岡	17.5	149.5	127.9	19.8	18.4	16.3
大船渡	18.6	215.3	122.7	20.6	19.4	17.6
宮古	17.9	224.2	126.3	19.8	18.6	16.9
仙台	19.6	209.8	121.6	21.6	20.4	18.6
石巻	19.2	161.7	134.1	21.2	20.0	18.1
山形	18.9	129.6	125.1	21.3	19.8	17.6
新庄	18.2	151.7	111.6	20.6	19.2	16.9
酒田	19.7	179.5	148.4	21.9	20.5	18.7
福島	20.0	167.8	114.3	22.3	20.7	18.8
若松	19.1	130.3	121.4	21.6	20.0	17.8
白河	18.3	209.6	111.5	20.6	19.1	17.1
小名浜	20.6	205.0	132.9	22.5	21.4	19.6

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.5 ~ +0.2	86 ~ 112	93 ~ 108
東北日本海側	-0.6 ~ +0.3	88 ~ 113	94 ~ 108
東北太平洋側	-0.5 ~ +0.2	87 ~ 112	92 ~ 109

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.7 ~ +0.6	-0.7 ~ +0.4	-0.6 ~ +0.3
東北日本海側	-0.8 ~ +0.7	-0.7 ~ +0.5	-0.6 ~ +0.3
東北太平洋側	-0.6 ~ +0.6	-0.6 ~ +0.4	-0.5 ~ +0.4

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1よりも多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成21年9月4日 仙台管区気象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月(9月5日~10月4日):

天気は数日の周期で変わらるでしょう。

期間の前半を中心に気温が低い見込みです。

平均気温は低い確率が50%です。

1週目(9月5日~9月11日):

期間のはじめは気圧の谷や湿った東風の影響で東北太平洋側を中心に曇りの日が多く、雨のところがありますが、その後は高気圧におおわれ晴れの日があるでしょう。

平均気温は低い確率が50%です。

2週目(9月12日~9月18日):

天気は数日の周期で変わり、一時寒気の影響を受けるでしょう。東北日本海側は平年に比べ晴れの日が少なく、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が少ない見込みです。

平均気温は低い確率が50%です。

3~4週目(9月19日~10月2日):

天気は数日の周期で変わらるでしょう。

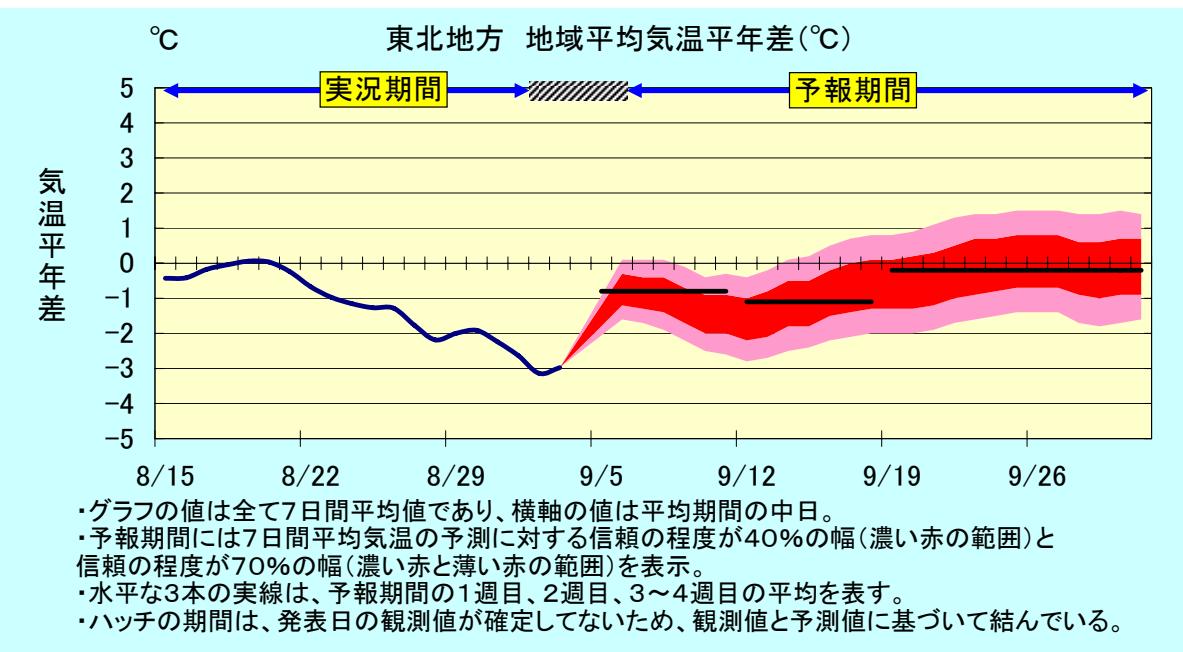
平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	13.3日	3.2日	3.3日	6.8日
東北太平洋側	12.5日	2.7日	2.9日	6.9日

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と予測資料

地域平均気温平年差の予測資料では、週別の平均気温は、1週目、2週目はともに平年を下回り、3~4週目は平年付近の予想となっている。

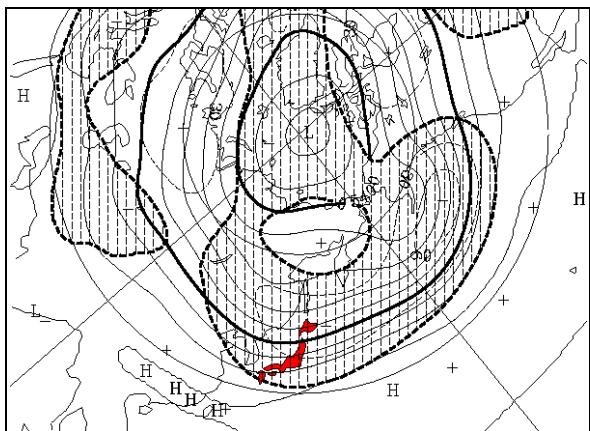


3. 1か月平均と1, 2週目の上空の大気の流れの予想 (500hPa 予想天気図)

1か月平均: 日本付近は北日本を中心に負偏差。気圧の谷や寒気の影響を受けやすく、低温が予想される。太平洋高気圧の本州付近への張り出しが弱く、東北地方への秋雨前線の影響は小さい見込み。少雨傾向が予想される。

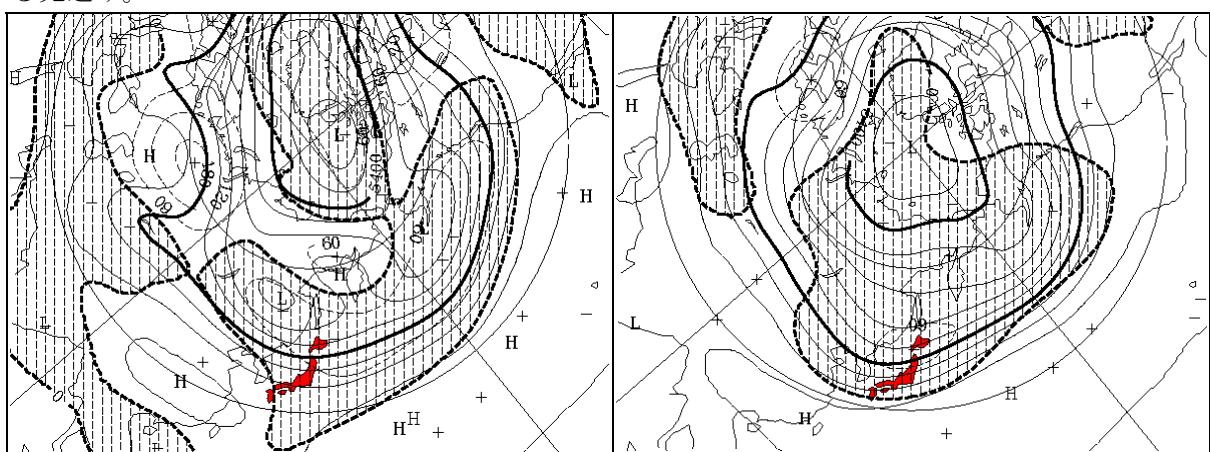
1週目: バイカル湖付近から日本の東海上にかけて負偏差、寒気の南下が予想される。中国東北区には寒冷渦が見られ、気圧の谷の影響を受けると予想されるが、日本付近は平年に比べ東谷傾向であり、低気圧の発達は小さい見込み。

2週目: 日本付近は北日本を中心に負偏差で、気圧の谷となっている。気圧の谷や寒気の影響を受けやすく、東北日本海側は晴れの日が少なくなる見込み。



1か月平均 500hPa 予想天気図

(図の見方は1,2週目と同じ
ただし平年差の間隔は30m毎)



1週目平均 500hPa 予想天気図

2週目平均 500hPa 予想天気図

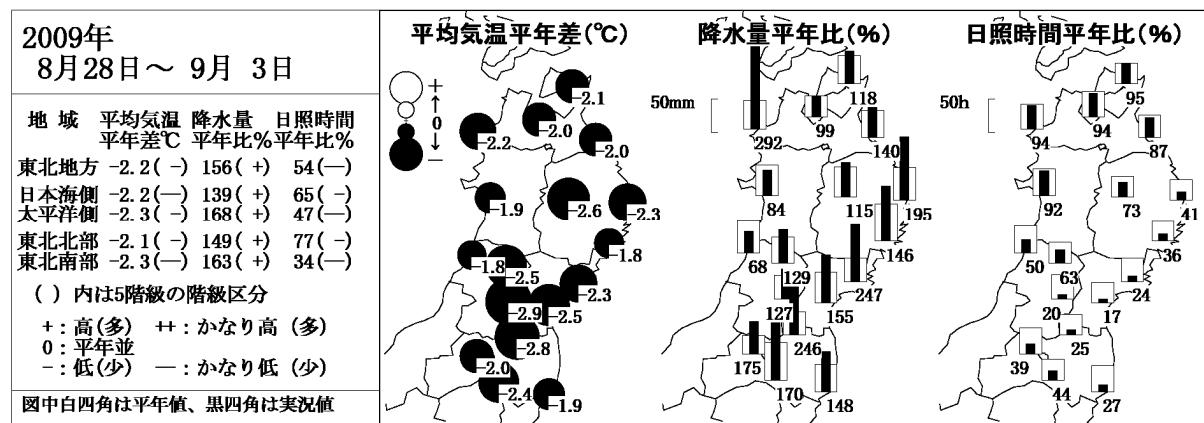
実線は、等高度線（間隔 60m）、点線は、平年差（間隔 60m）

陰影部は、負偏差で一般に寒気に対応する 白抜きは、正偏差で一般に暖気に対応する

4. 最近1週間 (8月28日～9月3日) の天候の経過

この期間、低気圧や前線、台風第11号の影響で曇りや雨の日が多くなったが、東北北部は北に偏った高気圧におおわれて晴れの日もあった。28日から29日にかけては低気圧が日本海を北東進した影響で、東北日本海側の北部で大雨となったところがあった。また、この低気圧からびる寒冷前線の通過後には寒気が入り、低温となった。31日から1日にかけては台風第11号が関東の東海上から三陸沖を北上した影響で、東北太平洋側を中心に大雨となったところがあった。

平均気温は東北北部で低く、東北南部でかなり低い。降水量は東北地方で多い。日照時間は東北北部で少なく、東北南部でかなり少ない。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）